

環境保全に配慮したマーケティング

～ カルビー工場廃食油のバイオ燃料化 ～

カルビー株式会社環境対策部は、企業活動で発生する廃棄物を埋め立て・焼却することなく、再利用できる新たな資源に再生する、「資源循環」に取り組んでいます。2011年度再資源化率は96.1%であり、次のステップとして、再利用資源を可能な限り自社内で使用する「自社内資源循環」に着手しました。

その一つが、工場廃食油のバイオ燃料化です。2010年度下期、北海道工業試験場による千歳工場廃食油の品質分析・バイオディーゼル適合検査をスタートさせ、バイオ燃料製造企業、物流パートナー等、関係企業の協力のもと、2011年度下期から千歳、下妻工場廃食油を原料の一部とするバイオディーゼル燃料の販売を開始しました。

2012年3月からは、千歳工場のトラック、フォークリフトで使用を開始し、6月からは6社の物流パートナーのカルビー製品配送トラックに使用しています。



バイオディーゼル燃料（BDF）によるCO₂排出量は、国際ルールによりカウントされないことになっており（光合成による植物のCO₂吸収により大気中のCO₂量は増加しないため）、地球環境にもやさしい燃料となっています。また、2社の物流パートナーは、自社でのバイオディーゼル製造を希望し、プラント導入に向けカルビー株式会社環境対策部との協働を開始しています。

短期的なコストよりも「環境にやさしい」を重視したエコロジカル・マーケティングの先端的な取り組みとなっています。

